

平成29年1月吉日

幼稚園・保育園園長様

公益社団法人マナーキッズプロジェクト
理事長 田中日出男

マナーキッズ®親子でのひらテニス教室開催に際してお願い

この度は、貴幼稚園・保育園でマナーキッズ親子でのひらテニス教室を開催させて頂くことになりました。いろいろご尽力頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。

このマナーキッズ親子でのひらテニス教室は、園児達にテニスをしながら日本の伝統的な正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方などの基本的マナーを体得していくという教室です。既に全国で47都道府県において約175,000人の幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加しましたが、「挨拶をする子が増えた」「子供をプラス方向に変える力を持っている」といった趣旨の報告が数多く寄せられております。全国で初めて予算化した品川区の浜川小学校から「規律正しい児童は学力も大きく向上する」-「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて-という事例報告がされております。

マナーキッズ®親子でのひらテニス教室を展開することにより、小さな頃に必要な神経系のトレーニングの一助にするとともに、小さな頃から、基本的な挨拶・お辞儀を体得して頂きます。

また、保護者も指導陣に加わり、正しいお辞儀・挨拶の仕方を習得し、かつ、小笠原流礼法鈴木万亀子総師範の「家庭内の躰」講話を聴講することにより、子育てに必要な心構えを習得して頂きます。

この教室がきっかけとなり、幼稚園・保育園、家庭、そして地域社会が一体となって、園児の変化が持続するような対応をお願い致します。

マナーキッズ親子でのひらテニス教室の資料は、公益社団法人マナーキッズプロジェクトのホームページから「開催したい」をクリックし、「親子でのひらテニス教室」からダウンロードできます。

また、礼法指導の様子は、公益社団法人マナーキッズプロジェクトのホームページから「開催したい」をクリックし、「体育・道徳融合授業」から動画でご覧頂けます。

マナーキッズ親子でのひらテニス教室開催にあたり、次に諸点にご留意頂ければ幸甚です。

- 1 実施対象について：幼稚園・保育園 年少組、年中組、年長組対象
- 2 実施場所について：幼稚園・保育園プレイルーム、運動場、教室
- 3 実施方法について：

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトが実施しているマナーキッズショートテニス教室（ラケットは通常の半分、スポンジボール、ネットは低い、コートは通常

の4分の1)を「てのひらけっと」を使用して実施します。

4 実施時間について(基本型):

- 10:00~10:30 小笠原流礼法鈴木万亀子総師範「家庭内の躰」講話聴講
- 10:30~10:45 保護者向け正しいお辞儀、挨拶の仕方、園児指導方法伝授
- 10:45~10:55 開講式、園児向け正しいお辞儀、挨拶指導
- 10:55~11:45 「てのひらけっと」を使いお辞儀、挨拶を反復練習
- 11:45~12:00 修了式(修了書書授与、お礼の挨拶)

5 「てのひらテニス」について

イ なぜ小さな頃にテニスがいいのか。

神経系身体機能を伸ばす要素が豊富なスポーツです。

テニスは 道具を用いる点 総合的な動体視力が求められる点 多方向への動作を必要とされる点 状況に応じた動作が求められる点から、コーディネーショントレーニング(神経系の発達を促す運動)として最適と言われております。幼少時期は特に神経系発達の伸びが著しく。その間に取り組むことで身体能力を効果的に高めることができます。

ロ なぜラケットじゃなく「てのひらけっと」を使うのか。

小さな子は「グー」じゃなくて「パー」が得意。

個人差がありますが、鉛筆で綺麗に字が書けるようになる年令くらいまでは、ラケットを握り、振ってボールを打つ、というのは難しい動作です。「てのひらけっと」は、振った状態ではなく、手を開いた「パー」の状態で打球し、手のひらの感覚でボールを扱うため、比較的簡単にボールを打つことができます。そのため、早いうちからテニスに必要な様々な能力を養うことができます。

6 開講式要領について

園側司会者:ただいまよりマナーキッズテニス教室を開催します。一同礼。

はじめに、園長先生より、お話を伺います。(園長不在の際は副園長)

園長挨拶:3分以内でお願いします。

園側司会者:次に、公益社団法人マナーキッズプロジェクト理事長を紹介して下さい。

(理事長不在の際は、当日担当のマナーキッズ講師を紹介、以降はマナーキッズプロジェクトで対応します)

7 閉講式要領について

司会進行:マナーキッズ講師が行います。

修了証書授与:園長先生から代表者2名程度に授与。後は、教室にて当日中に授与。

8 保護者向け講話について

総師範、総師範代行によります、講話などのビデオ撮影はお断り致します。

写真撮影はかまいません。

保護者向け講話への参加呼びかけ文書は、公益社団法人マナーキッズプロジェクトの

ホームページ「開催したい」をクリックし、「マナーキッズショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業」から取り出すことができますのでご利用下さい。

また、同ホームページから保護者向け講話の要旨を動画でご覧頂けますので、当日、ご欠席の保護者にご案内下さい。

9 教育委員会、他幼稚園・保育園の見学について

教育委員会及び近隣幼稚園、保育園、PTAの方々に見学のお声をかけて頂きましたら幸いです。

10 修了証書について

開催日の一週間ぐらい前に修了証書を送付します。

修了証書は当日までに、名前を入れておいて下さい。パソコンでも手書きでもどちらでも結構です。パソコン名前入力ソフトは、公益社団法人マナーキッズプロジェクトのホームページ「開催したい」をクリックし、「マナーキッズショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業」から取り出すことができます。

11 用具について

テニスの用具(ラケット、ボール、ネット)及び横断幕は、地方の園は、開催日の前々日までに、東京近郊の園は、開催日の前日までに送付します。

用具が、園へ到着しました際、「 月 日午後 時(閉講式終了後1時間以降からの時間を指定)に荷物を返送しますので、取りに来て下さい。」と頼んで下さい。

或は、佐川急便の近くの営業所(104でお聞き下さい)に連絡して、取りにきてもらって下さい。

用具は、当日の会場へ運んでおいて下さい。

なお、荷物保管先のフジラインは、佐川急便の関係会社です。佐川急便以外の運送会社は使用しないで下さい。

やむを得ず、開催日に荷物を返送できなかった場合は、必ずマナーキッズプロジェクト事務局へご連絡下さい。

12 園児が当日持参するものについて

- ・ 水筒(コップの水を先生が運んで頂いても結構です)
- ・ タオル各自1本(体幹遊び用) ハンカチ不可
- ・ 雑巾各自1枚(使い古しで結構です)

13 園側で当日用意して頂くものについて

- ・ ワイヤレスマイク1本
- ・ 名前記入の修了証書
- ・ 用具返送時使用 ガムテープ

14 受益者負担について

マナーキッズ親子でのひらテニス教室開催にあたり、小笠原流礼法総師範・師範またはマナーキッズ講師派遣交通費、宿泊費、謝金、地元指導者交通費及び用具送付相

当額等の費用が発生します。受益者負担の観点から、少なくとも用具送付相当額（1万円～2万円）をご負担頂くようお願いしております。可能であれば、3万円～5万円の指導料を頂ければ幸いです。

幼稚園・保育園からの支出が困難な場合は、地元ロータリークラブ他のご支援を頂いているケースがあります。また、PTAからご寄附を頂くケースもあります。保護者にミニチュアテニスボール(マナーキッズ・リマインドボール)を贈呈し、1個400円以上のご寄付を頂戴するケースもあります。

或は、公益社団法人マナーキッズプロジェクトでは、『「おもてなしの心を世界へ」広げよう スポーツと礼儀で子供は変わる』特集号（親子で学ぼう！マナーキッズ体幹遊び、川淵三郎最高顧問インタビュー、おうちで「マナー教室」、家庭内のしつけ7カ条、「マナーキッズ」調べ活用帳）を発売しておりますので、1冊200円でご購入頂ければ幸いです。

また地域によりましては、外部指導に対し、教育委員会などより資金が出る場合もあり、それをご寄附頂く場合もあります。教育委員会などへ、一度ご相談頂くようお願いいたします。

なお、東日本大震災復興支援事業の一環をして実施する場合は、小学校他のご負担はありません。

本プロジェクトは、企業、ロータリークラブ、個人の皆様方の寄付により運営されており、プロジェクト全員がボランティアの非営利組織でございますので、ご理解をお願い致します。

15 マナーキッズ親子でのひらテニス教室開催後のフォローについて

マナーキッズ親子でのひらテニス教室を通じて、園児達は正しいお辞儀・挨拶ができるようになります。しかし、それが持続するかどうかは、家庭、幼稚園・保育園でのフォロー如何にかかっております。

マナーキッズ教室のフォローの一環として「マナーキッズ」調べによるフォロー並びに体育相当授業他における正しい姿勢、お辞儀・挨拶及び体幹遊び導入によるフォローを実施しております。

公益社団法人マナーキッズプロジェクトのホームページ「開催したい」をクリックし、「マナーキッズショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業」の「教室開催後のフォロー要領」に記載しております。

(1) 「マナーキッズ」調べによるフォロー（原則として有償）

明石要一千葉敬愛短期大学学長のご提言により、幼児期、小学校期に身につけるべき、言葉、正しいお辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確にし、それに向かって、本人、保護者、教師が一体となって取組み、次代を担う子供達が将来、世界各国の人々から尊敬される日本人になる一助にすることを目的にしております。

保護者及び先生は、子供達が正しいお辞儀・挨拶、生活習慣等を見につくように「マ

ナーキッズ」調べをご活用し、マナーキッズショートテニス教室開催前或いは直後と、8ヶ月程度後の変化を数値的にフォローして下さい。

「マナーキッズ」調べの利用の仕方は、公益社団法人マナーキッズプロジェクトのホームページから、「開催したい」をクリックし、「マナーキッズ」調べという項目がありますのでご覧下さい。

なお、「マナーキッズ」調べで70点以上の児童を対象にした「マナーキッズ」調べ表彰者発表会を例年10月に東京において開催しており、出場者の中からマナーキッズ大使を選考し、アメリカのサマーキャンプに派遣しておりますので、挑戦して下さい。

また、先生、保護者或いは地元テニス協会他とタイアップしてクラブ活動、マナーキッズショートテニス同好会を発足させ、文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦（1年から6年までの学年別、男女別団体戦、単2、複1）を目標にしている学校が増えておりますので、是非挑戦して下さい。

(2) 体育相当授業他における正しい姿勢、お辞儀・挨拶及び体幹遊び導入によるフォロ

ー

正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方は、繰り返し行うことによって身につきます。

また、正しい姿勢を保つためには、体幹を日々鍛える必要があります。別紙の「正しい姿勢、体幹遊び導入計画・実績表」にご記入の上、公益社団法人マナーキッズプロジェクト事務局宛ご報告をお願いしております。

16 メディア対応について

本プロジェクトは、スポーツ庁の後援を頂いております。

地元メディアに取材依頼をお願いします。

17 問合せ先

166 - 0002

東京都杉並区高円寺北 3 - 22 - 3 デルコホームズ 4階

公益社団法人マナーキッズプロジェクト 事務局

Email office365@mannerkids.or.jp

URL:<http://www.mannerkids.or.jp/> ホームページをご覧ください。

電話 : 03 - 3339 - 6535 F A X : 03 - 6426 - 1580